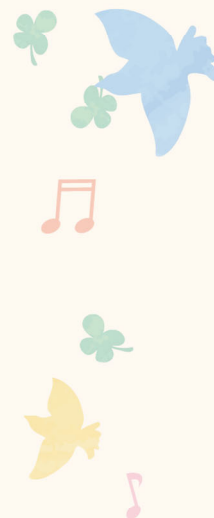


自分の意見を持ち、互いを尊重。地域との連携も盛ん!



糸島市の中心駅、JR筑前前原駅から直線距離で600mほどの場所にある前原南小学校。平成26年、校区内に伊都の杜(いとのもり)行政区が新たに設置され、児童数も増加傾向で、約670人が通う校内は活気に満ちています。「自ら考え抜き、仲間と練り合い、未来を拓く」を教育目標に掲げ、自分の意見を持ち、互いを尊重する子どもの育成に注力。授業などの日常の学校生活に、子ども同士の意見交換や褒め合いの活動を導入し、自己肯定感の向上を図っています。

地域と連携した活動も盛んです。中でも3年生が主体となって取り組む「こどもみこし」は、地域と共に作り上げる夏の一大イベントです。みこしの成功に向け、子どもたちは主体的にみこしの制作や全校児童への参加呼び掛けなどに取り

組みます。「ふるさとをもっと好きになってほしい」「保護者や地域の人にも関心を深めてほしい」。みこしに込められた願いを、子どもたちはしっかりと受け継いでいます。

地域の人はボランティア活動に熱心です。月2回、昼休みに教室や校庭を見回る「スクールヘルパー」は、不審者対策だけでなく、子どもたちとのコミュニケーションも大切な目的。気軽に話せる大人の存在が、子どもたちの心に寄り添います。また、授業のない土曜日に体育館を開放する「土曜ひろば」は、大人の見守りの中で、安心して過ごせる居場所を子どもたちに提供しています。温かな交流を通じ、地域の一員としての子どもの自覚や誇りを育てています。



地域を盛り上げる「こどもみこし」



教室や校庭を巡回するボランティア「スクールヘルパー」